



Human Metabolome Technologies, Inc.

2022年6月期第1四半期 決算補足説明資料

2021年11月

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 (6090)

本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

2022年6月期第1四半期 業績サマリー



**顧客の研究開発遅延の影響等を受け売上高は減少
営業の効率化や一般管理費の削減によるコストコントロールは継続**

(単位：百万円)
(表中の△は損失)

	2021年6月期 第1四半期	2022年6月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	245	173	△ 72	△29%
営業利益	△ 36	△ 44	△ 8	—
経常利益	△ 38	△ 43	△ 5	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 36	△ 48	△ 12	—
1株当たり当期純利益	△ 6.26	△ 8.28	—	—

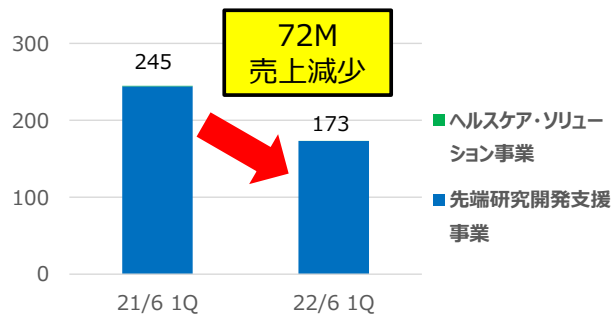
本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

セグメント売上高

(単位：百万円)

➤ WEBを活用した営業活動を展開

	2021.6 1Q	2022.6 1Q	増減額
先端研究開発 支援事業	244	173	△ 71
ヘルスケア・ ソリューション 事業	0	0	0
合計	245	173	△ 72

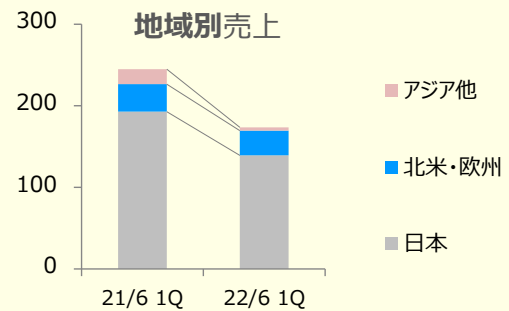
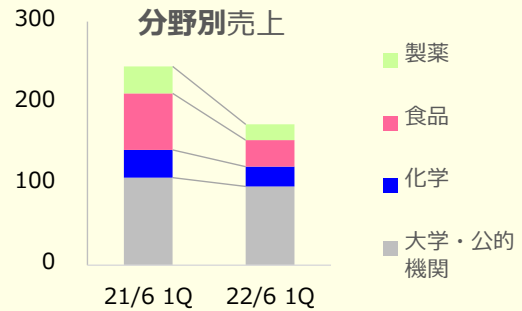


2022.6 1Qより、経営方針・戦略の変更に伴い報告セグメントを変更しております。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

先端研究開発支援事業売上

国内：アカデミアは堅調であったが
民間の研究開発は遅延
海外：アジア、欧州の売上減少



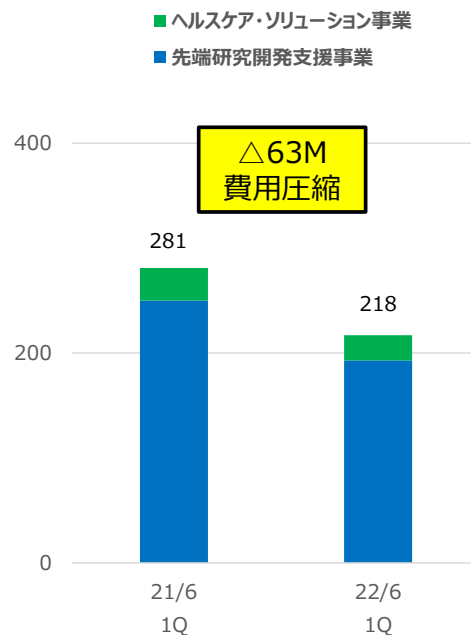
本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。 3

セグメント費用

(単位：百万円)

- 営業効率化の取組み
- 一般管理費コスト削減の取組み

	2021.6 1Q	2022.6 1Q	増減額
先端研究開発 支援事業	250	193	△ 57
ヘルスケア・ ソリューション 事業	31	24	△ 6
合計	281	218	△ 63



・2022.6 1Qより、経営方針・戦略の変更に伴い報告セグメントを変更しております。
・また、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、
全社費用を各セグメントに配賦しており、前期の情報につきましても
同様の算定方法により作成したものを記載しています。

メンタルヘルス

- 精神状態の評価指標の開発としてマルチマーカー（複数因子）への取り組み。
- 予防・モニタリングに焦点を当てた開発を継続。事業化に向けて協業先の検討継続。（例：健康経営におけるメンタルヘルス不調予防、復職支援等）
- 複数大学との共同研究継続するとともに、事業化に向けた検討を開始。

軽度認知障害等

- 弊社共同研究講座「メタボロミクスイノベーション学」（弘前大学）での研究開発。
- 社会実装に向けた開発を継続。多検体でのマーカーの検証を検討中。

その他 バイオマーカー開発サービス関連

- エクソソーム関連分野の研究ツール（試薬・受託等）開発と改良を継続。エクソソーム精製キットの普及に向け、当該キットを利用したアプリケーションデータの蓄積を実施中。

参考資料

持続的に成長する組織を目指してまいります。

- **利益拡大**
 - ・新たな解析メニューの拡充・拡販により売上成長を目指す
 - ・生産性向上と適切なコストコントロールにより利益拡大を目指す
- **開発プロジェクトの推進と新たな事業領域を開拓**
 - ・メンタルヘルス関連分野の早期の事業化に向け研究開発を推進する
 - ・ヘルスケア分野における新規事業の創出に取り組む

(単位：百万円)

	2022年6月期	(ご参考) 前期 2021年6月期	差額
	金額	金額	金額
売上高	1,200	1,124	+76
営業利益	100	39	+61
経常利益	100	59	+41
親会社株主に帰属する当期純利益	100	58	+42
一株当たり当期純利益	16円95銭	9円87銭	-

本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.



ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

設立年月日：2003年7月1日

資本金：1,481百万円

取締役（社内）：橋爪 克仁（代表取締役社長）
大畑 恭宏（取締役）

創業者：

富田 勝 慶應義塾大学先端生命科学研究所所長

曾我 朋義 慶應義塾大学教授

主な事業内容：先端研究開発支援事業

ヘルスケア・ソリューション事業

売上高（直近）：1,124百万円

従業員数（連結）：77名（博士：17名）

本社：山形県鶴岡市覚岸寺水戸246-2

東京事務所：東京都中央区新川2-9-6

シュテルン中央ビル5階

子会社：HMTアメリカ アメリカボストン

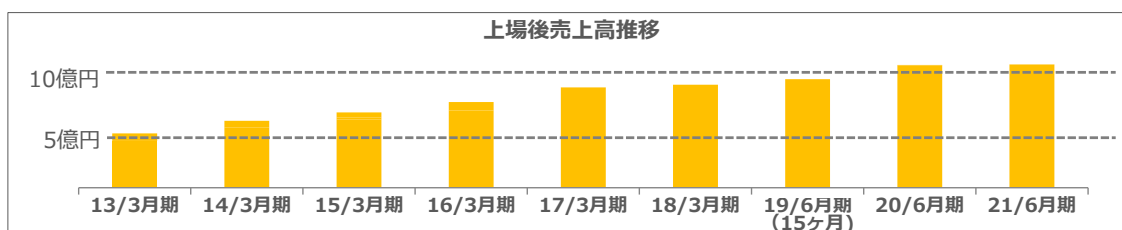
※HMTヨーロッパ（オランダ）は閉鎖手続き中であり、

2021年12月中に閉鎖が完了する予定です。

(2021年6月末現在)

本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。 8

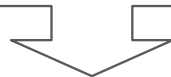
- 2001 ● 慶応大学先端生命科学研究所、山形県鶴岡市に開所
- 2003 ● 創業（創業者：慶応義塾大学 富田氏、曾我氏）
- 2012 ● Human Metabolome Technologies America Inc. 設立
- 上場（東証マザーズ：6090）
- 2013 ● うつ病バイオマーカー基本特許登録（日本）
米国（2015年）、中国（2015年）、欧州（2019年）
- 2015 ● 第9回 日本バイオベンチャー大賞受賞
- PEA測定に関する特許登録（日本）
- 2016 ● HMTバイオメディカル株式会社設立（2021年1月HMTと統合）
- エムスリー株式会社との資本業務提携
- 2018 ● 大うつ病性障害バイオマーカーに関する論文掲載
- 2019 ● 弘前大学寄付講座「メタボロミクスイノベーション学」開設
- 軽度認知障害バイオマーカー特許出願（日本）



本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

当社の企業理念・パーパス

「未来の子供たちのために、最先端のメタボローム解析技術と
バイオ技術を活用した研究開発により、
人々の健康で豊かな暮らしに貢献する」



当社が目指す方向性

【ヘルスケア・ソリューション・プロバイダー】
ヘルスケア研究開発に携わる人々のベストパートナーとして、
画期的なヘルスケア製品・サービスの創造に貢献する。

当社のSDGsへの取り組み



【目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう。】

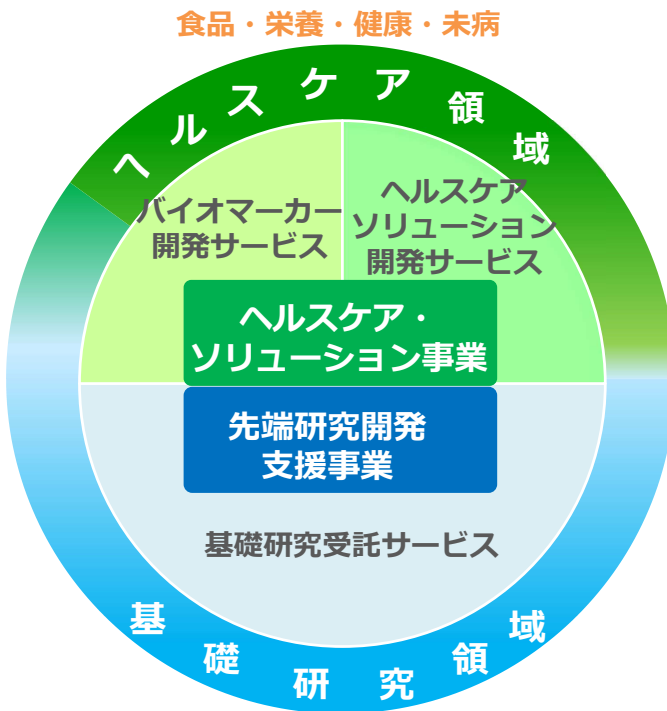
当社の技術・ノウハウを提供することで産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力の向上に貢献する。



【目標3：すべての人に健康と福祉を。】

当社の研究開発支援の結果、クライアント企業及び自社の製品化・サービス化により、健康危険因子の早期警告・緩和・管理、感染症などへの予防・対処、精神保健などの改善に貢献していく。

本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。



先端研究
開発支援事業

ヘルスケア・
ソリューション事業

内容

- ・メタボロミクス受託
- ・他オミクス受託、新分子種の受託解析
- ・既存開発マーカーの実用化
- ・バイオマーカー探索
- ・ヘルスケアR&D支援
- ・自社機能性素材開発
- ・Exosome関連開発

収益構造

- ・受託試験
- ・ライセンス
- ・ロイヤリティ
- ・マーカー探索受託
- ・受託検査
- ・製品販売
- ・コンサルティング

顧客

- ・アカデミア
- ・製薬企業
- ・食品企業
- ・化粧品企業等
- ・製薬企業
- ・診断薬企業
- ・食品企業
- ・化粧品企業
- ・(食品) CRO
- ・クリニック
- ・機能性素材製造販売企業等

(*) オミクス、メタボロミクス
生体中に存在する分子全体を網羅的に研究する学問のことをオミクスと言い、代謝物であればメタボロミクス、遺伝子はゲノミクス、たんぱく質はプロテオミクス等と言います。

本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

本資料に含まれる将来の見通し等に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後のマクロ経済動向、市場環境や当社の属するライフサイエンス業界の動向、当社の研究開発の進捗、その他内部及び外部要因により変動することがあります。

そのため、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通し等に関する記述と異なるリスクがあることを予めご了承ください。